

地域と連携した学校運営の取り組みの実態 に関する基礎的研究

— 中国・四国地方の小規模小学校を事例として —

内田 文雄 (理工学研究科 感性デザイン工学専攻)

三宅 廉 (理工学研究科 感性デザイン工学専攻)

A basic research on the management in cooperation with local communities in elementary school - Case study on small elementary schools in the Chugoku and Shikoku region -

Fumio UCHIDA (Professor , Graduate School of Science and Engineering)

Ren MIYAKE (Graduate student , Graduate School of Science and Engineering)

Abstract : This research aims at clarify actual state of management in cooperation with local communities in elementary school. Such school that manages in cooperation with local communities is expected to be becoming more popular in Japan.

Therefore , We surveyed six small elementary schools in the Chugoku and Shikoku region. As a result of surveys , we clarified that these schools serve as a local facilities for local development in local communities as well as conduct the localized educational activities

Key Words : *small elementary school , school management , community cooperation , local development*

1. 研究の背景

近年、少子化、高齢化が進行し、人口減少期を迎えた我が国では地域社会における小学校のあり方と教育活動の内容が変化しつつある。その背景として、少子化・人口減少による学校規模の適正化と学校運営の経済的な効率化を目的として全国的に学校統廃合が行われ、小学校の設置数が減少している¹⁾ことが挙げられる。また、文部科学省が取り組む”開かれた学校”づくりを目標とする教育改革によって、学校運営に保護者や地域住民が参画することを促す制度や事業が始まったり²⁾、学校と地域住民との協働活動の拡大し、地域固有の学習活動への関心が高まっている³⁾。他方、地域づくり計画などにおいては、地域社会の核として小学校の必要性が再認識されている。

こうした背景の中、地方では小学校の統廃合が進行している一方で、財政的な合理化・効率化の流れとは反対に、小規模小学校*1でありながら地域住民の意向によって存続している学校がある。その中には、地域住民と連携しながら学校運営に取り組むことで、地域固有の特色ある学習活動を展開したり、地域社会を維持・活性化させている事例がある。^{4) 5)}

しかし、このような小規模小学校について、近年の学校運営上の取り組みや地域活動における学校と地域との関わり方の実態に関する研究備蓄は限られた状態である。

2. 研究の目的

今後、人口減少による地域社会の衰退が加速度的に進行すると予想されるなか、地域社会や学校の存続に関わる問題を抱える地域住民や学校関係者が、地域独自の取り組みを考える上での手がかかりとなるものを蓄えていくことが求められるだろう。

そこで本研究では小規模小学校において展開されている、地域と連携した学校運営の取り組みの実態を明らかにすることを目的とする。

3. 研究の方法

地域と連携した学校運営に取り組んでいる小規模小学校の学校長をはじめとする学校関係者および各自治体の教育委員会、学校支援に携わる地域住民に対してヒアリング調査を行うとともに、学校及び周辺地域について現地調査及び文献調査を行った。

なお、調査対象を選定するにあたり、適正規模*1を満たしていない小規模小学校について、(Table 1)に示す3つの条件のいずれかに該当するものを抽出し、そのなかで、本研究では(Table 2)に示す6つの事例について調査を行った。

そして、調査によって得られた知見をもとに、各調査対象校で展開されている地域と連携した学校運営の取り組みの実態について分析を行う。

4. 地域住民による学校支援活動

まず、地域と連携した学校運営の取り組みについて、教育機関としての小学校の学校運営における地域住民らによる学校支援の取り組みの実態について明らかにする。

条件1：積極的に地域と連携した学校運営や学習活動を展開し、その取り組みが各種メディアに取り上げられた事例
条件2：コミュニティ・スクールに指定された経緯をもち、その取り組みについて一定の評価をされている事例
条件3：学校支援地域本部事業を導入し、その取り組みについて一定の評価をされている事例

Table 1 調査対象の選定条件

学校名	設置者	学校規模	校区人口 世帯数	選定理由
平郡東小学校	山口県柳井市	5名 2学級※	232人 161世帯	● ▲
真砂小学校	島根県益田市	15名 3学級※	394人 174世帯	● ■
西粟倉小学校	岡山県英田郡 西粟倉村	69名 7学級	1,530人 573世帯	● ■
伊座利小学校	徳島県海部郡 美波町	6名 3学級※	103人 42世帯	● ▲
父二峰小学校	愛媛県上浮穴 郡久万高原町	34名 5学級※	607人 301世帯	● ■
仕七川小学校		8名 3学級※	572人 310世帯	●

凡例 ※：複式学級有り ●：選定条件1
▲：選定条件2 ■：選定条件3

調査対象校の立地状況
凡例：学校名(中学校区の構成)

Table 2 調査対象校の概要

4.1 地域住民による学校支援活動の傾向

6つの小学校および地域社会についての事例調査を行った結果、全ての事例においてそれぞれ独自の取り組みが展開されており、その背景には学校と地域社会の個別の事情や動機を反映していることが明らかになった。

しかし、そのような中でも、(Table 3)に示すように、全ての事例にみられる学校支援活動の傾向として、地域住民による主な学校支援活動は学習活動への参加および支援活動であることが明らかになった。

	平郡東	真砂	西粟倉	伊座利	父二峰	仕七川	傾向
学習活動支援	●	●	●	●	●	●	6校 / 6校
給食支援	—	●	●	—	—	—	2校 / 6校
通学補助	—	—	●	—	●	●	3校 / 6校
環境整備	—	●	—	—	●	●	3校 / 6校
教員住宅整備	●	—	—	—	—	—	1校 / 6校
金品寄贈	不定期	—	不定期	不定期	●	●	5校 / 6校

Table 3 学校支援活動の傾向

この分析結果より、地域と連携した学校運営の取り組みの実態を把握する為に、地域と連携した学習活動に注目し、その取り組みの実態について明らかにする。

4.2 地域と連携した学習活動の取り組みの実態

調査結果をもとに、地域と連携した学習活動や

学校行事について、その内容がどのような要因によって決められ、学習課程においてどのように位置づけられ、地域住民をはじめとする学校外部の人物や組織が教育活動にどのように参加しているのかを明らかにするため、それぞれの事例について4つの分析項目を設け、分析を行う。

1) 学校と地域の固有の条件による活動内容への影響

地域と連携した学習活動の内容について、学校と地域がそれぞれに抱える固有の条件がどの程度影響を与えているのかを明らかにするために、各校で展開されている活動について、(Table 4)に示す5つの項目によって分類を行い、その結果をまとめたものを(Table 5)に示す。

分析の結果、各校における地域と連携した学習活動について、全ての学校において、周辺地域の自然や一次産業（農業・漁業・林業）を題材とした地域の地勢的要因と、地域の歴史や文化を題材とした地域の歴史的要因による影響を受ける傾向にあることが明らかとなった。

また、学校規模が10人未満の過小規模学校（平郡東・仕七川）では、児童数の少ないことによる教育的不利な点を考慮した活動が多く、学校の規模的要因による影響を受ける傾向にあることが確認できる。

【学校の要因】

- 規模的要因 … 児童数が少ないことによる学習活動上の不利な点を考慮したもの
- 施設的要因 … 特別教室やプールなど学習の場の不足を考慮したもの

【地域の要因】

- 地勢的要因 … 周辺地域の地形や自然を活かした産業を活用したもの
- 歴史的要因 … 周辺地域の歴史的資源を活用したもの
- 施設的要因 … 地域の公共施設が不足していることを考慮したもの

Table 4 学習活動の内容に影響を与える要因 分類方法

	学校の規模的要因	学校の施設的要因	地域の地勢的要因	地域の歴史的要因	地域の施設的要因	合計 (件数)
平郡東	45% (15件)	12% (4件)	18% (6件)	15% (5件)	9% (3件)	(33件)
真砂	23% (10件)	14% (6件)	37% (16件)	23% (10件)	2% (1件)	(43件)
西粟倉	19% (7件)	8% (3件)	36% (13件)	36% (13件)	0% (0件)	(36件)
伊座利	13% (4件)	7% (2件)	30% (9件)	40% (12件)	10% (3件)	(30件)
父二峰	24% (8件)	0% (0件)	32% (11件)	41% (14件)	3% (1件)	(34件)
仕七川	36% (13件)	0% (0件)	31% (11件)	25% (9件)	8% (3件)	(36件)

Table 5 学校および地域固有の条件による影響 分析結果

2) 学習課程における位置づけ

地域と連携した学習活動が学種指導要領をもとに各学校で定められる学習課程においてどのように位置づけられているか、また地域の行事と学校の教育活動の関わりの有無を明らかにするため、各校で展開されている活動について、(Table 6)に示す4つの項目によって分類を行い、その結果を(Table 7)に示す。

分析の結果、各校における地域と連携した学習活動および学校行事について、全ての学校において、総合的な学習の時間（中～高学年）や生活科（低学年）といった学習内容の企画を行う

- ①科目授業…各科目の授業時間として割り当てられ、行われるもの
- ②特別活動…学年・学級単位を基本として行われ、各科目の授業時間には割り当てられないもの
- ③学校行事…全校を基本とし、学校行事として計画されて行われるもの
- ④地域行事…地域の行事または市民活動に学校の教育活動の一環として参加するもの

Table 6 学習課程における活動の位置づけ 分類方法

	科目授業	特別活動	学校行事	地域行事	合計 (件数)
平郡東	44% (12件)	19% (5件)	22% (6件)	15% (4件)	(27件)
真砂	50% (15件)	10% (3件)	27% (8件)	13% (4件)	(30件)
西栗倉	45% (10件)	32% (7件)	14% (3件)	9% (2件)	(22件)
伊座利	38% (13件)	6% (2件)	44% (15件)	12% (4件)	(34件)
父二峰	41% (16件)	10% (4件)	26% (10件)	23% (9件)	(39件)
仕七川	32% (11件)	9% (3件)	44% (15件)	15% (5件)	(34件)

Table 7 学習課程における活動の位置づけ 分析結果

上で自由度の高い科目を中心とした、科目授業として位置づけられ、実施される傾向にあることを確認することができた。

また、地域の行事と合同で行う場合や、学習指導要領においてそれぞれの科目に規定された授業時数を超過して活動が行われる場合は、活動時間について各学校に一定の裁量を与えられている学校行事として位置づけられ、実施される傾向にあることが明らかになった。

3) 地域の人的資源の活用方法

地域と連携した学習活動や学校行事において、どのような立場の地域住民が、どのような役割を担って、学習活動に参加しているのか、学校による地域の人的資源の活用方法について明らかにする。

①連携相手に関する分析

各校における活動に参加する連携相手について、参加した活動の件数によって比較を行った。その結果を(Table 8)に示す。

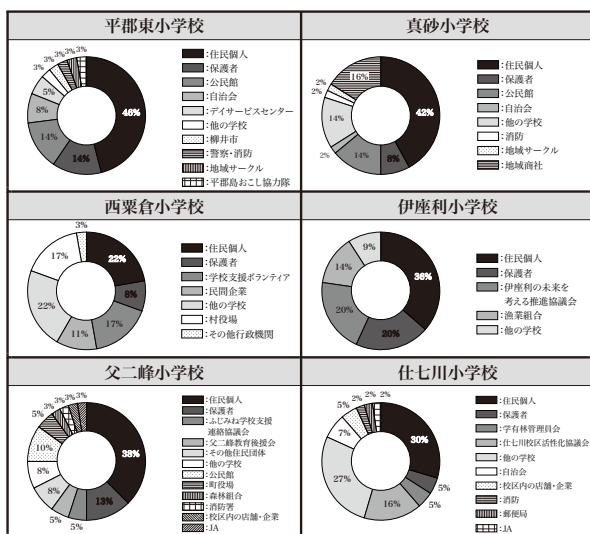


Table 8 活動に参加する連携相手 分析結果

比較分析の結果、全ての学校において住民個人が参加するケースが最も多いことが分かった。また、保護者や公民館、学校支援ボランティア

アなど、それぞれの地域における学校支援組織が参加している傾向にあることを確認できる。

②連携相手の役割に関する分析

続いて、各校で取り組まれる活動において、参加する連携相手の担う役割について、(Table 9)に示す4つの分類項目によって分類を行い、分析結果を(Table 10)に示す。

分析の結果、各校における地域と連携した学習活動について、6校中4校において、連携相手の役割は、外部講師として地域の産業や文化・歴史などに関する専門的な知識や技能を教える学習指導タイプが最も多いことが明らかになった。

一方、これに該当しない2校について、平郡東小学校では、地域参観日以外の日においても日常的に地域住民が授業に参加し、児童の学習発表の相手となることが多いため、学習支援タイプの割合が最も大きくなっている。また、仕七川小学校では、児童数が少ないことによる教育上の不利な点を考慮して、隣接する保育園と学校行事や集会を共同で行ったり、同じ中学校校区を構成する他の3つの小学校と頻繁に交流学習を展開しているため、共学タイプの割合が最も大きくなっている。

- 学習支援タイプ…校外学習の引率や意見交換の相手役などの学習支援
- 学習指導タイプ…専門的な知識や技能を教える
- 資料作成タイプ…活動に必要な教材および資料の収集や作成・提供
- 共学タイプ…児童と同じ学習者として活動に参加する
- その他のタイプ…学校行事への参加や場の提供など、活動への間接的な協力

Table 9 活動に参加する連携相手の役割 分類方法

	学習支援	学習指導	資料作成	共学	その他	合計 (件数)
平郡東	45% (14件)	6% (2件)	6% (2件)	10% (3件)	32% (10件)	(31件)
真砂	13% (4件)	31% (10件)	3% (1件)	22% (7件)	31% (10件)	(32件)
西栗倉	15% (4件)	41% (11件)	4% (1件)	15% (4件)	26% (7件)	(27件)
伊座利	26% (8件)	35% (11件)	16% (5件)	16% (5件)	6% (2件)	(31件)
父二峰	28% (11件)	41% (16件)	3% (1件)	10% (4件)	18% (7件)	(39件)
仕七川	26% (10件)	24% (9件)	3% (1件)	26% (10件)	21% (8件)	(38件)

Table 10 活動に参加する連携相手の役割 分析結果

4) 地域と連携した学習活動の実態 まとめ

調査対象校において展開されている地域と連携した学習活動の実態について明らかになったことを以下にまとめる。

- ①地域と連携した学習活動の内容は、学校周辺の「地勢的要因」および「歴史的要因」に影響される傾向にある。
- ②地域と連携した学習活動は主に「科目の授業」として行われている。
- ③活動に参加する連携相手は学校近隣に住む地域の「住民個人」であることが多く、活動における連携相手の役割は主に地域の産業や文化・歴史などの専門的な知識や技能を教える「学習指導タイプ」である。

4.3 地域社会による学校支援が展開される仕組み

それぞれの調査対象校と周辺の地域社会では、地域の実状に応じて、地域と連携した学校運営の取り組みや学習活動を安定的・持続的に行うための連携体制が構築されている。ここでは各学校および地域で運営されている連携体制と、活動が展開されることによって学校と地域社会の相互にもたらされる利点を整理し(Table 11)、共通する特徴について分析を行うことで、地域ぐるみの学校支援が展開される仕組みを明らかにする。

1) 学校支援に取り組む地域と学校の連携体制

調査対象校6校のうち5校において、地域づくり活動に取り組む市民団体や地域自治組織が学校支援活動において学校と深く関わっていることが明らかになった。また、西粟倉小学校では、ふるさと学習や食育活動において村内の農家や林業分野の企業と連携して行っていることから、地域の産業に関わる組織や人物が学校支援活動に参加していることが明らかになった。

2) 学校支援活動が学校と地域の相互に与える影響

まず、地域と学校が連携して展開する教育活動が、小学校に与える影響について、2つの特徴を抽出することができた。一つ目は、小規模校であるため、教員だけでなく、地域住民も児童一人一人に応じた、きめ細かい指導ができたり、

児童が多様な人間関係に触れる機会を確保できていることである。二つ目は、教員が少ない中でも、地域住民の支援活動が、地域固有の学習活動を企画・実施する上での大きな助けとなっていることである。

一方、こうした教育活動が、地域社会に及ぼす影響について2つの特徴を抽出することができた。一つ目は、地域行事や住民団体の活動を学校と合同で行うことで、児童だけでなく教職員が地域の活動に参加するなど、規模が維持・活性化されているという事実を確認することができたことである。二つ目は、ふるさと学習や体験型学習を通じて、地域の産業や地域おこし活動に児童が参加することが、地域話題性を創り出すことにつながっているという事実を確認することができたことである。

3) 地域社会による学校支援が展開される仕組みまとめ

以上のことから、地域住民による学校支援活動が展開される仕組みとして、小学校が主に地域づくり組織や自治組織と積極的に連携しながら、地域全体で学校運営や学習活動に取り組んでいることが明らかになった。また、そうした取り組みが、地域独自の教育活動を展開させているだけでなく、地域づくり活動にもつながっており、学校と地域の相互に利点をもたらしていることが明らかになった。

学校名	学校支援の組織の仕組み	活動による相互の利点
平野東小学校		<p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域固有の体験型学習の充実 学校運営の合理化 児童の多様な人間関係の形成 <p>【地域】</p> <ul style="list-style-type: none"> 住民活動の活発化 地域おこしの起爆剤としての期待 地域住民の生きがいの充実
真砂小学校		<p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> 食育教育の充実 地域の産業への理解と関心の深まり 児童の多様な人間関係の形成 <p>【地域】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域活動の活発化 地域おこし活動に関する話題性の創出 住民（農家）の安定した収入源の確保
西粟倉小学校		<p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> 食育教育の充実 ふるさと学習の充実 通学環境の改善 <p>【地域】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域活動の活発化 林業の話題性の創出 村内の観光施設の賑わいを創出 地域行事の活性化
伊座利小学校		<p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然体験学習の充実 ふるさと学習の充実 児童の多様な人間関係の形成 児童数の獲得 <p>【地域】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の産業の話題性を創出 地域行事の活発化 地域住民の生きがいの創出 新規移住世帯の獲得
父二峰小学校		<p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然体験学習の充実 ふるさと学習の充実 通学環境の改善 <p>【地域】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域行事の活発化 地域住民の生きがいの創出 公民館活動における人手不足の改善
仕七川小学校		<p>【学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然体験学習の充実 ふるさと学習の充実 構内の環境保全活動の充実 <p>【地域】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域行事の活発化 地域住民の生きがいの創出 公民館活動の場の確保

凡例 : 学校支援に携わる組織 : 学校支援において特に関係の深い組織 : 地域づくり活動または地域自治を主導する組織

Table 11 学校支援に取り組む地域との連携体制 地域連携活動による学校と地域の相互の利点

5. 地域の活動における学校施設の利用実態

次に、地域の活動における学校施設の利用実態に注目し、地域の公共施設としての小学校の施設運営に関する取り組みの実態について明らかにする。

5.1 学校施設で展開される地域の活動の内容

各事例の学校施設で展開されている地域の活動について、活動内容の違いによって7種類に分類することができた。この分類結果をもとに、事例ごとに比較分析を行った結果を(Table 12)に示す。

	平郡東	真砂	西栗倉	伊座利	父二峰	仕七川	傾向
地域自治	●	●	—	—	●	●	4校 / 6校
地域行事	●	●	—	●	●	●	5校 / 6校
生涯学習	●	●	—	—	—	—	3校 / 6校
生涯スポーツ	●	—	●	●	●	●	5校 / 6校
環境整備	—	●	—	—	—	—	1校 / 6校
医療・福祉	—	—	—	—	—	●	1校 / 6校
防災	—	—	—	—	●	—	1校 / 6校

Table 12 学校施設で展開される地域の活動の内容に関する傾向

分析の結果、地域行事と生涯スポーツに関する活動は6校のうち5校で展開されていることが分かった。また、地域自治に関する活動は6校のうち4校で展開されていることが分かった。これらのことから、学校施設で展開されている地域の活動は主に地域行事・生涯スポーツ・地域自治に関する活動であることが明らかとなった。

5.2 学校施設で展開される地域の活動の内容

次に、学校施設で展開されている地域住民の活動について、活動内容と活動場所の傾向に関する分析を行い、その結果を(Table 13)に示す。

整備されている学校	地域の活動の内容						
	地域自治	地域行事	生涯学習	生涯スポーツ	環境整備	医療・福祉	防災
屋外運動場	平郡東	●	—	●	—	—	—
	真砂	—	●	—	—	●	—
	西栗倉	—	—	—	—	—	—
	伊座利	—	●	—	●	—	—
	父二峰	—	—	—	—	—	●
	仕七川	—	●	—	—	—	—
体育館	平郡東	●	—	●	●	—	—
	西栗倉	—	—	—	●	—	—
	父二峰	—	—	—	●	—	—
多目的ホール	平郡東	—	—	—	—	—	—
	伊座利	—	●	—	●	—	—
	父二峰	—	—	—	—	—	—
余裕教室	真砂	●	—	—	—	—	—
	仕七川	—	—	—	—	—	—
	仕七川	—	—	—	—	—	—
図書室	真砂	—	—	—	—	—	—
	西栗倉	—	—	—	—	—	—
	伊座利	—	—	●	—	—	—
	父二峰	—	—	—	—	—	—
	仕七川	—	—	—	—	—	—
調理室	真砂	—	—	●	—	—	—
	西栗倉	—	—	—	—	—	—
	伊座利	—	—	—	—	—	—
	父二峰	—	—	—	—	—	—
ヘリポート	仕七川	—	—	—	—	—	—
	父二峰	—	—	—	—	—	●

Table 13 地域の活動の内容と活動場所に関する傾向

分析結果、地域自治・地域行事・生涯スポーツに関する活動について、活動場所に関する傾向を確認することができた。

まず、地域自治に関する活動は体育館・多目的ホール・余裕教室で行われる傾向にある。その背景として、活動内容は主に自治組織の役員会や懇親会であり、その活動場所として屋内の部屋を必要とするためであることが考えられる。

また、地域行事に関する活動と生涯スポーツに関する活動は屋外運動場・体育館・多目的ホール

で行われる傾向にある。この背景として、これらの活動は大人数が参加するため、広い面積を有する空間が活動の場として求められ、利用されていることが考えられる。また、活動に必要な道具が整備されていることも、背景として考えられる。

5.3 地域の活動における学校施設の利用実態

まとめ

以上のことから、公共施設の整備状況が不十分な地域において、地域住民の活動はその活動内容と学校施設の内容に応じながら展開されており、小規模小学校の学校施設が地域の住民活動および自治活動の拠点として利用されているという事実を確認することができた。

6. 結論

本研究では、小規模小学校で展開されている地域と連携した学校運営の取り組みの実態について調査し、分析を行った。

その結果、地域と連携した学校運営に取り組む小規模小学校は、地域独自の教育活動を展開させていると同時に、地域社会における地域づくり活動のための地域施設としての役割を果たしている、という実態が明らかになった。

また、その取り組みの共通点として、学校と地域社会が「地域の資源」「教育活動と地域活動」「組織と人材」「意識・価値観」の4つの要素を共有していることが分かった。

今後、人口減少による地域社会の衰退がより深刻化すると予想されるなか、地域社会や学校の存続に関わる問題を抱える人々や学校の先生方が、地域独自の取り組みを考え、取り決めていくための手がかりとなるものをさらに蓄えていくことが必要であると考えられる。

注釈・参考文献

*1 小規模小学校：国や各自治体が学校統廃合に関する学校の設置基準において定める全校児童数または学級数の規模（＝適正規模）を満たさない小学校を意味する。

- 1) e-stat 政府統計の総合窓口ホームページ, 学校基本調査, 年次統計
- 2) 高橋興：学校支援地域本部をつくる—学校と地域による新たな協働関係—, 2011.8, ぎょうせい
- 3) 文部科学省：小学校学習指導要領（平成20年3月告示、平成27年3月一部改正）
- 4) 金子郁容：日本で「一番いい」学校—地域連携のイノベーション(2008.10), 岩波書店
- 5) 尾原浩子：「学校を守り、地域の未来をひらく」, 月刊誌「世界」2015年5月号 (No.869) 掲載, 岩波書店

(平成28年3月23日受理)